

《今週号の主な内容》

■先週・今週の報道発表

今週の RPPC に関連する発表は特にございません

■RPPC 事務局からのお知らせ

1. 循環資源技術説明会の開催のご案内（2 月 9 日福岡）
- 2.

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 港湾局、災害廃棄物の広域処理について関係機関と連携
2. 改正土対法の見直し、今通常国会で審議予定
3. 国交省・環境省が船舶・港湾の低炭素化に 29 年度新制度

=====
=

◇RPPC 事務局からのお知らせ

循環資源技術説明会の開催のご案内（福岡）

下記のとおり技術説明会を開催します。
詳細は、添付ファイルをご覧ください。

日時：平成 29 年 2 月 9 日（木）13：30～16：30
場所：福岡第二合同庁舎 本館二階 共用第 2～4 会議室
※現在、プログラムは調整中です。後日改めてご案内致します。

技術説明会は国や港湾管理者等の担当者を対象としていますが、一般会員の方の参加も可能です。添付の参加申込書に所定事項をご記入の上、申し込みください。
※申込期限 2 月 2 日（木）

=====
=====

◇リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 港湾局、災害廃棄物の広域処理について関係機関と連携

国土交通省港湾局は、巨大災害時における災害廃棄物の港湾を活用した広域処理について検討を始める。リサイクルポート推進協議会など関係民間団体と連携し、港湾での処理にあたっての課題を整理するとともに、対策の実効性を向上させるため関係者の体制及び役割分担等について検討する。

災害廃棄物の広域処理における港湾の活用方法としては、①港湾での災害廃棄物の仮置き、②船舶を活用した広域輸送、③海面処分場での災害廃棄物の受入、などがある。

港湾局では巨大災害から発生する廃棄物の広域処理にあたっては、港湾を活用した仮置きや海上輸送、海面処分場が不可欠とみており、課題を整理するとともに事前の実効方策を検討する。

【港湾空港タイムス】

2. 改正土対法の見直し、今通常国会で審議予定

環境省は昨年12月の中央環境審議会土壌制度小委員会答申に基づき、今国会に現行の改正土壌汚染対策法の見直し案を上程する。埋立地等臨海部の土地活用が活発化する可能性がある。

現行の改正土壌汚染対策法では自然由来の汚染土壌についてもその取扱いや移動に大きな規制がかけられ、土地の有効活用や経済的な視点で制約が大きく、浚渫土による土地造成や活用が停滞する要因の一つにもなっていた。

見直し案では同一港内での土砂の移動が可能になるほか、公共工事等への浚渫土砂の利活用の範囲が広がる。

【港湾空港タイムス】

3. 国交省・環境省が船舶・港湾の低炭素化に29年度新制度

国土交通省と環境省の連携事業として、平成29年度新た、係船・荷役に係る作業効率化や低炭素化に向けた取組みを支援する「船舶・港湾の連携による低炭素化事業（29年度予算案1・5億円）」が認められた。民間事業者が実施する設備・機械導入の費用を補助（1/2）することで、海陸の物流システムが接続する物流拠点である港湾において総合的な低炭素化を図っていく。

補助対象施設としては、港湾では軽量バケットや陸上電力供給設備など。また船舶では高性能な係船設備やローディングアーム（石油・ケミカル）などを想定している。これにより、内航船における荷役の効率化が図られるとともに、係留時間の短縮や定時性の確保等トラック輸送等を海上輸送に転換するモーダルシフトが進むことが期待される。

【港湾空港タイムス】

発行者：RPPC 広報部会
部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）
部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）
 木村 竜也 東京都
 梅木 重光 (株)酒田港リサイクル産業センター
 新谷 聡 りんかい日産建設（株）
リサイクルポート推進協議会 事務局
一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、菅木
URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

- 会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。
- メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。
- メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。

平成28年 12月 19日

関係者各位

リサイクルポート推進協議会

リサイクルポート推進協議会 循環資源技術説明会の開催について（ご案内）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜びを申し上げます。

さて、リサイクルポート推進協議会（RPPC）（※）では、港湾・空港等整備において、リサイクル製品（無機系循環資源）の活用を促進するため、循環資源利用促進部会を設置し、リサイクル製品の特徴や使用実績等をまとめた「リサイクル製品便覧」を作成し、普及・広報活動を行っています。

また、国土交通省港湾局は、平成27年12月に、「港湾・空港等整備におけるリサイクルガイドライン」を改訂し、港湾整備事業等においてリサイクル製品の利用促進を図ることとしております。

これらを背景として、リサイクルポート推進協議会では、国や港湾管理者等の港湾・空港等整備に携わる担当者を対象として、「循環資源技術説明会」を開催することといたしました。

最近のリサイクル製品技術、材料開発の状況、活用事例等を報告する機会として下記のとおり説明会を開催しますので、多数のご出席を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

※ リサイクルポート構想を推進するための官民共通のプラットフォームとして、民間団体や民間事業者、リサイクルポートに指定された港湾管理者と関連する地方自治体を会員とする任意団体。

記

1. 開催日時及び場所

日時：平成29年 2月 9日（木）13:30～16:30

※プログラムについては、別添資料を参照下さい。

場所：福岡第二合同庁舎本館二階 共用第2～4会議室

住所：〒812-0013

福岡市博多区博多駅東2丁目10-7 福岡第二合同庁舎

TEL：092-418-3358

2. 問合せ先

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団 もとの本野、ちきぎ清水、ちきぎ菅木

TEL：03-5408-8296 FAX：03-5408-8741

E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

F A X送付先：リサイクルポート推進協議会 事務局
一般財団法人みなと総合研究財団 本野、清水、菅木

F A X : 03-5408-8741

リサイクルポート推進協議会 循環資源説明会 FAX申込書

【日 時】

平成 29 年 2 月 9 日(木)
13 : 30 ~ 16 : 30

【会 場】

福岡第二合同庁舎 本館二階
共用第 2 ~ 4 会議室

〒812-0013

福岡市博多区博多駅東 2 丁目 10-7
福岡第二合同庁舎
TEL : 092-418-3358



【参加者記載欄】

下記に必要事項をご記入の上、2月2日(木)までに

FAX (03-5408-8741) またはメール (rppc_jimukyoku@wave.or.jp) にご返信下さい。

貴団体名		
(代表者)	ご所属・ご役職	
	ふりがな氏名	
参加者	ご所属・ご役職	
	ふりがな氏名	
	ご所属・ご役職	
	ふりがな氏名	
ご住所		
T E L		
F A X		

平成 28 年度 第 2 回

リサイクルポート推進協議会 循環資源技術説明会プログラム案

リサイクルポート推進協議会
循環資源利用促進部会

日 時：平成 29 年 2 月 9 日（木） 13：30～16：30

会 場：福岡第二合同庁舎本館二階 共用第 2～4 会議室

【プログラム】	所用時間(分)
(1) ごあいさつ リサイクルポート推進協議会 循環資源利用促進部会長 鉄鋼スラグ協会 技術部長 東 和彦	13:30 (5)
(2) 鉄鋼スラグを用いた海域環境修復技術および地盤改良技術について 新日鐵住金の事例紹介（カルシア改質技術、エコガイアストーン） 新日鐵住金(株) スラグ・セメント事業推進部市場開拓室 主幹 木曾 英滋	13:35 (30)
(3) 鉄鋼スラグを用いた海域環境修復技術および地盤改良技術について JFE の事例紹介（水和固化体、底質浄化技術） J F E スチール(株) スラグ事業推進部 主任部員（副部長）林 正宏	14:05 (25)
(4) 港湾・空港工事における非鉄スラグ利用技術について 日本鋳業協会 スラグ委員会 委員長 栗栖 一之	14:30 (25)
(休 憩)	(15)
(5) 石炭灰から大地の活力を甦らせるご提案 ～石炭灰の有効利用について～ 九電産業株式会社 資源リサイクル部 部長（営業推進担当） 藤畑 定生 日本フライアッシュ協会	15:10 (25)
(6) 石炭灰製品の港湾工事への活用事例（Hiピース, Hiピース・ロック） 中国電力（株） 説明者調整中 日本フライアッシュ協会	15:35 (15)
(6) 溶融スラグ再資源化の現状について （一社）日本産業機械工業会 クボタ環境サービス(株) 焼却・リサイクル事業部 担当部長 永山 貴志	15:50 (25)
(7) 全体を通じた質疑	16:15 (15)
(閉 会)	16:30